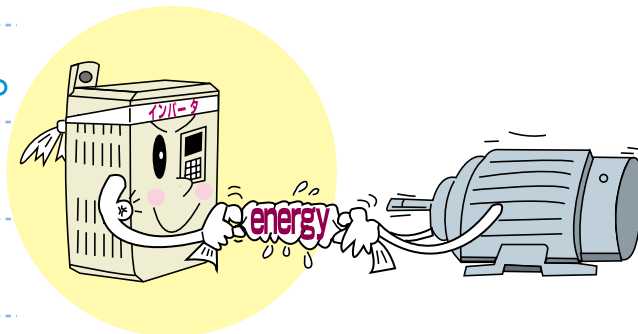


汎用インバータの更新は計画的に

インバータには寿命があります。
トラブルの未然防止のために、
計画的に更新をお願いします。

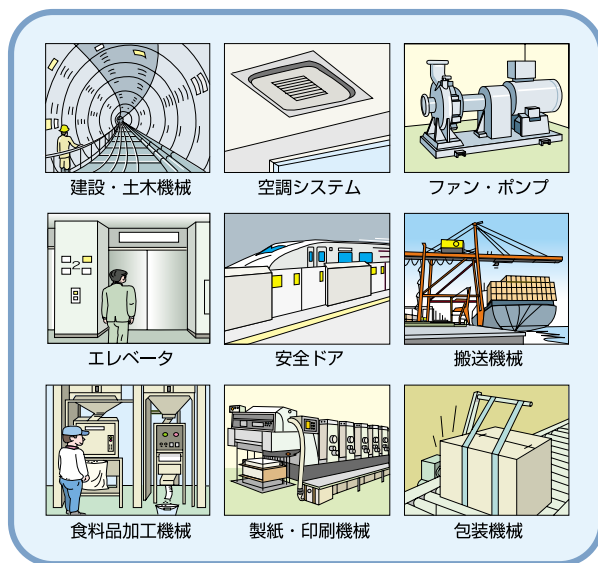


「まだまだ使えるだろう」には、
大きなリスクが潜んでいます。

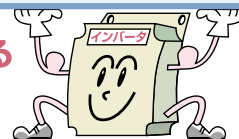
インバータを耐用年数以上にご使用いただいている場合、突然の故障発生による設備・システムの停止というリスクが極めて高い状態にあります。

「まだ故障したわけではないので、動く間は使いたい」「リプレースの予算がない」という気持ちがあるとは思いますが、いざ実際に「故障によって設備が止まったら……」

一旦停止した設備・システムの復旧や機器交換には、時間もコストも掛かります。これらの損失（時間、工数、費用）を招く前に、最新機種への更新をお勧めします。



社会を支える
インバータ



更新のメリット

最新機種への更新により、トラブルを未然に防ぐだけでなく、以下のようなメリットがあります。

- ①製品の小型化により、設置面積・設置体積が小さくなる。
- ②機能・性能向上により省エネルギー効果が向上する。
- ③新しい機能を使えるようになる。
 - ・機能の拡張。（例：ネットワークへの接続）
 - ・寿命診断機能などによる、保守・点検の利便性のアップ。

生産中止後の製品は、早めに最新機種へ更新ください。

インバータは、生産中止後数年間、修理対応可能とされています。しかし生産中止機種に使用されている部品が入手できない、修理ができない、多大な時間を要するなどのケースがあります。

生産中止後の製品については、早めに最新機種へ更新することをお勧めします。

なぜインバータの更新が必要か？

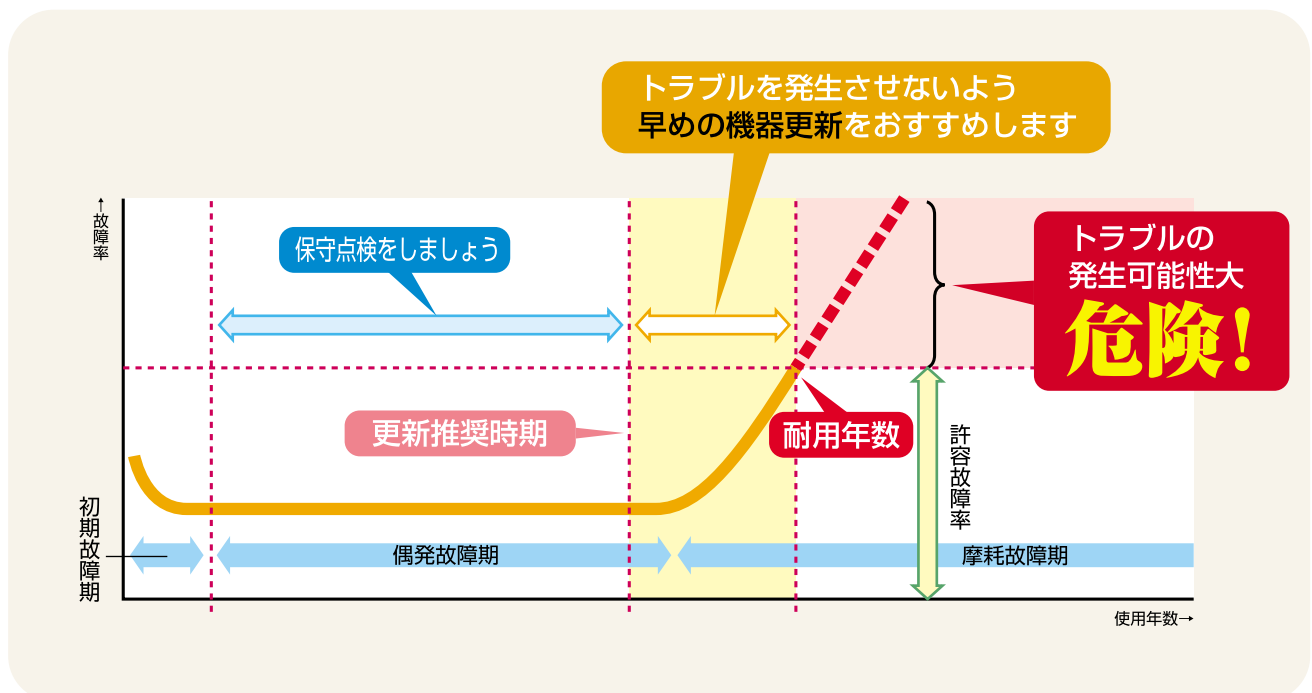
インバータには、数多くの部品が使用されています。これら部品が全て正常に動作しなければ、本来の機能を発揮することができません。インバータが所定の機能・性能を満足する期間がインバータの耐用年数になります。

インバータの耐用年数は、電子部品や樹脂などの劣化により、一般的には10年程度を目安^{※1}としています。したがって、有寿命部品（交換可能部品）^{※2}を交換した場合でも、永久的に使い続けることはできません。

※1 インバータが設置される環境や運転条件の影響及び機種、シリーズによっては、10年より短い場合があります。

※2 一般的な有寿命部品（冷却ファン、アルミ電解コンデンサ、リレーなど）の交換目安は『汎用インバータ定期点検のおすすめ』を参照してください。

トラブルを未然に防ぐため、耐用年数に達する前に、最新機種へ更新することをお勧めします。



●インバータ業務専門委員会

サンケン電気(株) 住友重機械工業(株) 東芝シュネデール・インバータ(株) 東洋電機製造(株)
(株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機(株) (株)明電舎 (株)安川電機 (五十音順)

●インバータ技術専門委員会

サンケン電気(株) 住友重機械工業(株) 大洋電機(株) 東芝シュネデール・インバータ(株) 東洋電機製造(株)
戸上電機製作所(株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三木プーリ(株) 三菱電機(株) (株)明電舎
(株)安川電機 (五十音順)